

LabVIEWドキュメントとヘルプのリソース

ヘルプ

フロントパネルまたはブロックダイアグラム上のオブジェクトへカーソルを移動すると、**ヘルプウィンドウ**に各オブジェクトについての基本情報が表示されます。**ヘルプ→ヘルプを表示**を選択してヘルプウィンドウを表示します。

LabVIEWヘルプ

パレット、メニュー、ツール、ダイアログボックス、および標準VIまたは標準関数に関する参照情報が記載されています。また、LabVIEWの機能の使用方法についての手順も記載されています。**ヘルプ→オンラインヘルプリファレンス**を選択してLabVIEWヘルプにアクセスします。

LabVIEWライブラリ

すべてのLabVIEWドキュメントを電子フォーマットで参照していただけます。LabVIEWライブラリを使用して、PDF形式のすべてのLabVIEWマニュアルとアプリケーションノートを検索します。**ヘルプ→LabVIEWドキュメントライブラリを表示**を選択してLabVIEWドキュメントライブラリへアクセスします。

LabVIEWサンプルVI

LabVIEWには数百個のサンプルVIが用意されていて、作成したVIへ組み込むことができます。また、アプリケーションに適合するようサンプルVIを修正したり、1つまたは複数のサンプルを作成したVIに対して、コピーしたり貼り付けたりすることができます。**ヘルプ→サンプルの検索**を選択して、サンプルVIの参照や検索をします。

LabVIEWウェブリソース

オンライン上でのナショナルインストルメンツリソースへのリンクのリストが用意されています。**ヘルプ→インターネットリンク**を選択してni.com/jpにあるLabVIEWリソースへアクセスします。利用可能なリソースは下記のとおりです。

製品とサービス

- ・アップグレード情報
- ・カスタマートレーニング
- ・セミナー、イベント情報

ソリューション

- ・システムインテグレータ
- ・業界別ソリューション

サポート

- ・LabVIEWサポート
- ・マニュアル

NI Developer Zone

- ・ディスカッションフォーラム
- ・コードライブラリ

キーボードショートカット

LabVIEWヘルプでショートカトリストのページを参照するには、キーワードタブで「キーボードショートカット」と入力します。

オブジェクト/移動

Shift-クリック	複数のオブジェクトを選択、または選択されているオブジェクトへ他のオブジェクトを追加
↑↓→← (矢印キー)	選択したオブジェクトを一度に1ピクセルずつ移動
Shift-↑↓→←	選択したオブジェクトを一度に数ピクセルずつ移動
Shift-クリック (ドラッグ)	選択したオブジェクトを1つの軸上に移動
Ctrl-クリック (ドラッグ)	選択したオブジェクトをコピー
Ctrl-Shift-クリック (ドラッグ)	選択したオブジェクトをコピーして1つの軸上に移動
Shiftを押しながらサイズ変更	アスペクト比を維持しながら、選択したオブジェクトのサイズを変更
Ctrlを押しながらサイズ変更	中心点を維持しながら、選択したオブジェクトのサイズを変更
Ctrlを押しながら長方形枠にドラッグ	フロントパネルまたはブロックダイアグラムに余白スペースを追加
Ctrl-A	前回行ったオブジェクトの整列操作を選択されているオブジェクトに適用
Ctrl-D	前回行ったオブジェクトの間隔操作を選択されているオブジェクトに適用
余白をダブルクリック	自動ツール選択が有効な場合、フロントパネルまたはブロックダイアグラム上にフリーラベルを配置
Ctrl-マウスホイール	ケースストラクチャ、イベントストラクチャ、または、スタックシーケンスストラクチャのサブダイアグラムのスクロール

LabVIEW環境のナビゲーション

Ctrl-E	ブロックダイアグラムとフロントパネルを切り替え
Ctrl-#	アラインメントグリッドを有効/無効に設定 フランス語版キーボードでは、<Ctrl>キーを押す
Ctrl-/	ウィンドウを最大化または元のサイズに戻す
Ctrl-T	フロントパネルとブロックダイアグラムのウィンドウを左右に並べて表示
Ctrl-F	オブジェクトまたはテキストを検索
Ctrl-G	VI内のオブジェクトまたはテキストの次のインスタンスを検索
Ctrl-Shift-G	VI内のオブジェクトまたはテキストの前のインスタンスを検索
Ctrl-Shift-F	検索結果ウィンドウの表示
Ctrl-Tab	LabVIEW内のすべてのウィンドウをトグル
Ctrl-Shift-Tab	LabVIEW内のすべてのウィンドウを逆トグル
Ctrl-I	VIプロパティダイアログボックスを表示
Ctrl-L	エラーリストウィンドウを表示
Ctrl-Y	履歴ウィンドウを表示
Ctrl-D	階層ウィンドウを再描画
Ctrl-A	階層ウィンドウ内ですべてのVIを表示
Enter *	検索文字列と一致する次のノードを検索
Shift-Enter *	検索文字列と一致する前のノードを検索

* 階層ウィンドウ内で検索開始入力後に実行

デバッグ

Ctrl-↓	ノードの中に入る
Ctrl-→	ノードを飛び越える
Ctrl-↑	ノードの外に出る

ファイル操作

Ctrl-N	新規VIを作成
Ctrl-O	既存のVIを開く
Ctrl-W	VIを閉じる
Ctrl-S	VIを保存
Ctrl-P	ウィンドウの印刷
Ctrl-Q	LabVIEWを終了

基本的な編集

Ctrl-Z	最後の操作を取り消す
Ctrl-Shift-Z	最後の操作をやり直す
Ctrl-X	オブジェクトを切り取る
Ctrl-C	オブジェクトをコピーする
Ctrl-V	オブジェクトを貼り付ける

ヘルプ

Ctrl-H	ウィンドウを表示
Ctrl-Shift-L	ヘルプウィンドウをロック
Ctrl-? またはF1	LabVIEWヘルプを表示



メモ: ショートカットキーの<Ctrl>キーの代わりに、(Mac OS) では<Option>または<Command>キー、(Sun) では<Meta>キー、(Linux) では<Alt>キーを使用します。

ツールとパレット

Ctrl	便利な次候補ツールへの切り替え
Shift	位置決めツールへの切り替え
余白でCtrl-Shift	スクロールツールへの切り替え
スペース *	2つの一般的なツール間での切り替え
Shift-Tab *	自動ツール選択を有効にする
Tab *	自動ツール選択ボタンをクリックして自動ツール選択を無効にした場合、ツールをトグル それ以外の場合、自動ツール選択を有効にする
↑↓→←	一時的に表示されている制御器パレットまたは関数パレットをナビゲート
Enter	選択されたテンポラリーパレットへナビゲート
Esc	選択されているテンポラリーパレットから上のパレットへナビゲート

* 自動ツール選択が無効な場合

サブVI

サブVIをダブルクリック	サブVIのフロントパネルを表示
Ctrl-サブVIをダブルクリック	サブVIのブロックダイアグラムを表示
VIのアイコンをブロックダイアグラムヘドラッグ	ブロックダイアグラム上にVIをサブVIとして配置
Shift-VIのアイコンをブロックダイアグラムヘドラッグ	VIをサブVIとして非デフォルトの値の制御器用に配線した定数とともにブロックダイアグラム上に配置
ブロックダイアグラムをCtrl-右クリックでVIを選択	関数パレットからVIのフロントパネルを開く

実行

Ctrl-R	VIを実行
Ctrl-. *	VIを停止
Ctrl-M	実行/編集モードを切り替え
Ctrl-実行ボタン Ctrl-Shift-実行ボタン	既存のVIの再コンパイル。 メモリ内のすべてのVIを再コンパイル
Ctrl-↓ *	配列/クラスタの内部へフォーカスを移動
Ctrl-↑ *	配列/クラスタの外部へフォーカスを移動
Tab *	タブの順序設定にあわせて制御器/表示器をナビゲート
Shift-Tab *	逆順に制御器/表示器をナビゲート

* VIの実行中

配線

Ctrl-B	すべての不良ワイヤを削除
Esc, 右クリック、または、端子上でクリック	配線を中止
ワイヤ上でシングルクリック	セグメントを選択
ワイヤ上でダブルクリック	ブランチを選択
ワイヤ上でトリプルクリック	ワイヤ全体を選択
A	一時的に自動配線機能を無効
ダブルクリック (配線中)	未接続のワイヤをタックス止め
スペース	オブジェクトの移動中に自動配線を切り替え
Shift-クリック	配線した最後のポイントを取り消す
2つの入力端子を持つ関数の入力端子上でCtrl-クリック	2つのワイヤ接続を切り替え
スペース	水平方向と垂直方向で配線方向を切り替え

テキスト

ダブルクリック	文字列内の1単語を選択
トリプルクリック	文字列全体を選択
Ctrl→	文字列で1単語ずつ前方向へ移動 (英文のみ)
Ctrl←	文字列で1単語ずつ後方向へ移動 (英文のみ)
Home	文字列内の現在行の先頭へ移動
End	文字列内の現在行の最後へ移動
Ctrl-Home	文字列全体の先頭へ移動
Ctrl-End	文字列全体の最後へ移動
Shift-Enter	列挙型制御器/表示器、リング制御器/表示器、またはケースストラクチャに項目を入力する場合、新規項目を追加
Esc	文字列内の編集を中止
Ctrl-Enter	テキスト入力を終了
Ctrl==	現在のフォントサイズを拡大
Ctrl--	現在のフォントサイズを縮小
Ctrl-0	フォントダイアログボックスを表示
Ctrl-1 *	アプリケーションフォントを表示
Ctrl-2 *	システムフォントを表示
Ctrl-3 *	ダイアログフォントを表示
Ctrl-4 *	現在のフォントを表示

* フォントダイアログボックス内

編集、実行、および、デバック用ツール



ヘルプを表示:ヘルプウィンドウを表示



実行:VIを実行



壊れた実行ボタン:VIにエラーがあることを表示
ボタンをクリックしてエラーを一覧表示



連続実行:実行を中止するか一時停止するまでVIを
繰り返し実行



実行停止:VIの実行を停止



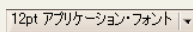
時停止:VIの実行を一時停止または再開



オブジェクトの整列:軸に沿ってオブジェクトを整
列



オブジェクトの間隔:オブジェクトを等間隔に配置



テキスト設定:VI内のテキスト属性
を変更



オブジェクトのサイズ変更:選択されている複数の
フロントパネルオブジェクトを同じサイズに変更



並べ替え:オブジェクトが重なり合っている場合、オブ
ジェクトの重ね順を変更（前方と後方への移動を含む）



実行のハイライト:ブロックダイアグラム内のデー
タの流れを表示



中に入る:実行中に点滅するノードのシングルス
テップ実行



飛び越える:ノードを実行し、次のノードで一
時停止



外に出る:現在のノードのシングルステップ実行
を中止し、次のノードを実行



ブレークポイントツール:ノード上にブレークポ
イントを設定し、実行を一時停止



プローブツール:ワイヤ上にプローブを作成し、
VI実行中のその時点での値を表示



コールチェーン:最上位VIから開かれてい
るサブVIまで、すべての発呼者を一覧表示

端子データタイプ

符号付き整数 (0)	8ビット	
	16ビット	
	32ビット	
符号なし整数 (0)	8ビット	
	16ビット	
	32ビット	
浮動小数点 (0)	単精度	
	倍精度	
	拡張精度	
複素浮動小数点 (0 + 0i)	単精度	
	倍精度	
	拡張精度	



メモ:括弧内はデフォルト値です。

ブール
(FALSE)

文字列
(空の文字列)

パス
(〈無効パス〉)

Refnum

列挙タイプ

クラスタ 数値
複数のデータタイ
プを含むクラスタ

配列 1次元
2次元

波形

デジタル波形

デジタル

I/O名制御器

タイムスタンプ

ダイナミック

ピクチャ

バリエント

